

# みどり探訪

## 善福寺公園

杉並区善福寺2・3丁目



交通アクセスはこちらから

善福寺公園の半分を占める善福寺池は、豊富な水量で江戸時代に武蔵野3大湧水池の一つに数えられ、江戸の水瓶として利用されたそうです。

上の池は、80年以上も前からボート乗り場があり、春には沢山の桜が池を囲んで開花する桜の名所としても見事な景観です。

下の池は趣を変え、ヨシなどの水性植物で覆われ、初夏にはスイレンの花も美しく静かな雰囲気です。



鈴なりの実



上の池中島にある井草八幡宮所有の弁財天(市杵島神社)



遅の井の滝:約800年前源頼朝が奥州征伐の途中掘ること7度目にして水を得たとの言い伝えがある



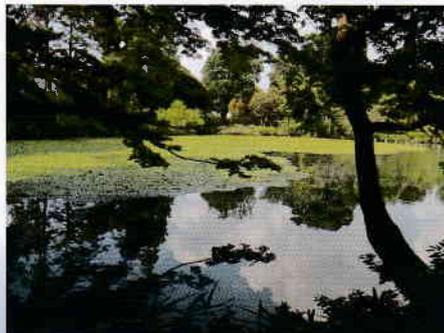
サービスセンター内で開催中の写真展で野鳥観察会などの話を聞く



カワウの整列



善福寺公園作りに尽力した内田秀五郎氏の像



水面の空は更に青く

どちらの池にも、多くの種類の鳥たちが来訪者を楽しませてくれます。実は、善福寺公園は「日本野鳥の会」発足の地、野鳥観察の聖地でもあります。

また、池の周りにはセンダン、リュウキュウマメガキ、ロウバイ、コブシ、シダレヤナギ、ソメイヨシノ、ヌマスギ、サンシュユ、アジサイ、フヨウなど、様々な植物が見られます。

善福寺公園は、1930年(昭和5年)、自然美を維持保存するために創設された風致地区に指定されました。周囲にビルは一切見られず、ゴミ箱は置かず、年2~3回樹木医が診断し、みどりと自然の保全に取り組み、貴重な自然の宝庫となっています。ぜひとも、足を運んで楽しんで下さい。

水面に映るみどりも美しい上の池

上の池、下の池と呼ばれる善福寺池を沢山の樹木が取り囲み、豊かな自然を四季折々に楽しめる公園